

# 緑のまち

——北国分だより——

第126号 2019. 1. 25発行



編集「北国分外環対策協議会」で検索  
市川市北国分 4-8-6 佐々木方  
TEL 047-371-9528  
<http://midori.kuuki.info>  
[ishitaka6648@gmail.com](mailto:ishitaka6648@gmail.com)



## 迎 春

2019年



pikta.jp - 43737966

### 第48回北国分外環対策協議会報告

昨年7月29日、第48回の総会を、清水みな子市議、長友正徳市議に参加いただき、小塚山研修所で行いました。遅くなりましたが報告します。

前年度の活動報告、会計監査報告を行い承認していただきました。今年度の活動計画については

- バードウォッチング
- 「緑のまち」発行（不定期）
- 森の音楽会（5月に行ないたいが未定）

を提案しました。

外環連合が5月の集会をもって解散する事となり、北国分外環対策協議会もそれまでに総会を開き、その後の活動について話し合っていきたいと思えます。

参加者の皆さんからは、

1. 新しい道路にできた歩道と自転車道との段差が危なく、大きな事故も起きている
2. 騒音に関しては今は問題ないが、この先の事は心配である
3. 中国分方面、矢切駅方面へ行くのに、大きな歩道橋や長い信号を通らないと行けなくなり、高齢者にとっては大変であるなどの問題が出されました。二人の市議からは、解決の方向で頑張りますと発言がありました。

これからの活動については、「外環が開通してからも、いろいろな問題が出てくると思うので北国分の町の事をいろいろな面で話し合う場が必要だと思う。」との意見をいただき、対策協議会として、この会をどう解散発展させて行ったらいいのかを考えていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

（佐々木陽子）

# 東京外環道路開通による二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度の変化

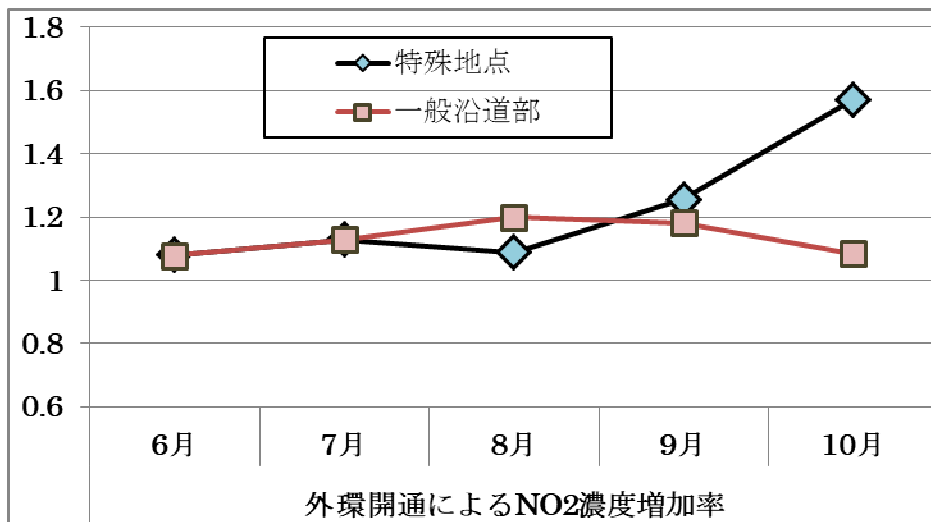
市川の空気を調べる会 鈴木一義

東京外環道路は昨年6月2日に、市川の住宅地を貫いて開通しました。

当会は関係者の協力を得て、月平均濃度を測定できる天谷式簡易月間計を用いて、開通前から道路より50m以内の沿道で、NO<sub>2</sub>濃度の測定を行ってきました。開通後のデータも増えてきましたので、開通前後の濃度の変化を報告します。

測定地点は「中矢切トンネル出口」、「小塚山研修所トンネル出口」、「Jct そばみづき公園」の特殊部3地点と、下矢切、小塚山、平田、大和田の一般沿道4地点、及び外環道から離れた遠隔地の国府台、八幡小（測定局）、宮田小（測定局）の3地点を測定しました。（測定者：鈴木、石居隆）

6月から10月までの各月の月平均濃度を、開通前（2017年）と開通後（2018年）の同じ月について比較しました。なお、遠隔地の濃度は外環道路の影響を受けないと考え、もしその平均値に2017年と2018年の同月で差があれば、それは道路以外の要素（天候等）によると考え、この差をなくす率を求め、他の測定地点についても同じ影響を受けていると考えて同じ率を掛けて、道路以外の影響を排除しました。結果は下図の通りです。



一般沿道部は開通後10~20%の増加で推移しています。特殊部は9月、10月と急増し、10月は50%を超える増加となっています。一般沿道部の推移は、起き始めた国道部の渋滞を嫌って元の道路に戻る車も見られ、その影響とも考えられます。特殊部は、高速道と国道部の排気ガスが重なって、冬季に向かって増加しているせいでしょうか。今後の推移を注視しましょう。なお埼玉外環での試験では、この沿道の濃度は道路から500mは離れても変わらないとの結果が得られており、この濃度増加は広範囲に及んでいると見られます。

当局が 2002 年と 2004 年に行ったフォローアップの環境アセスメントで、1 日の交通量が 7~8 万台で大気汚染の増加量はほぼ 0 との予測を行っていますが、今回の結果からも、そのアセスメントの誤りが実証されたと考えます。

## □探鳥会報告□



日 時：平成 30 年 11 月 25 日（日）

天 候：晴れ

参加者：関根夫妻、鈴木、佐野、佐久間、松村、新谷

吉田夫妻、石居靖、石居邦、佐々木、三好、村岡 計 14 名

確認された鳥：オシドリ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ  
オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ  
カイツブリ、キジバト、コゲラ、ハシボソガラス  
ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ  
計 18 種

コメント：今期 1 回目、天気は良く、いつもの参加者に加えて新しい参加者もあり、楽しくじゅんさい池まで歩きました。小塚山の森は静かで、例年より鳥の数が少なかったようです。全体的に野鳥の数が少なくなっていると村岡さんも話していましたが、当日の小塚山は静かでした。11月のバードウォッチングでは会の始まりに今日何種類鳥が観察されるのか一人ずつ予想して、最後に当たった人に村岡さんから野鳥カレンダーがプレゼントされるという行事がありました。2回目は2月17日（日）です。次回は寒さも本格的になり、冬鳥がもっとたくさん見られるかもしれません。是非ご参加下さい。

（佐々木）

**次回の探鳥会** 平成 31 年 2 月 17 日（日）

平成 31 年 4 月 29 日（祝）



案内人：村岡幸生さん（日本野鳥の会会員）

午前 10：00 小塚山あずまや 集合

午後 12：00 じゅんさい池 解散

※雨天の場合は、中止となります。有れば双眼鏡、メモ帳をご持参下さい。

## 緑のまちあれこれ

---

- 所々高く積まれた残土の山のあった道免き谷津ですが、昨年末までに平らに均され整備されました。予定では、今年からいよいよ小塚山拡充公園として造園工事が始まるのでしょうか。ワークショップで検討された計画通り工事が行われるかどうか注視していく必要があります。
- 昨年8月29日、道の駅で開かれた北千葉道路説明会では、参加者も少なく関心が薄いように感じられました。既に環境アセスメントの詳細も、住民意見も反映されずに進んでおり、この状況ですと外環道とは対照的に完成はスムーズに行くのではと考えられ、まだ先の事と油断していると北千葉ジャンクションが完成した際には、更なる問題が表面化してくると予想されます。外環道が開通し、もうダメだという気分になっているのは察するところですが、北国分・中国分の皆様も今一度関心を持っていただく事をお願い致します。
- 市川の空気を調べる会では、年2回の1日計による測定とは別に平成28年9月から月間計によるNO<sub>2</sub>濃度測定を開始しました。その結果報告概要が前ページであります。開通後も環境基準が守られると言った国側の間違った主張と公害調停の場において私達住民側が環境影響評価書の中で、その値の算定根拠の開示を求めましたが、頑なに国側が拒んだ理由がこれで明確になったのではないのでしょうか。これからも引続き測定を行い、データを蓄積して考察していきたいと思えます。会では数年前に、ナノ粒子について東京理科大学の先生をお呼びして講演をして頂きました。エンジンの高性能化が進むと、PM<sub>2.5</sub>より更に超微細なナノ粒子の排出が多くなり、人体への悪影響を及ぼすそうです。いずれ内燃機関の時代は終わり、電気自動車へ移行すると思われそうですが、大型貨物輸送のディーゼルエンジンの消滅までには、まだ時間が掛かりそうです。

※北千葉道路 第3回オープンハウス 2月11日 10:00~16:00 道の駅いちかわ

---

- 編集後記 ■ 昨年6月に外環道路が開通し、北国分の町も日々変わりつつあります。松戸及び市川の有志の皆様で構成された外環連合会議も12月の北国分での第564回の集会を最後に47年間と長きに亘った活動も終わりを向かえました。北国分外環対策協議会も、その役目にひと区切りとし、今後も外環道による様々な問題が発生し、北国分の町にも影響を及ぼすことが予想されるという事で皆様方の意見が一致し、環境問題を中心に、この緑のまちを大切に守っていく活動をこれからも継続していきましようという事になりました。今後は北国分だけでなく、他の地域でも関心のある方は是非ご参加いただき、盛り上げていただきたいと思います。(T.I)